

JATピックアップ

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2011年10月

出来秋の天候不順で 収穫作業は遅れ気味

収穫終盤



幕別町の主要作物生育状況 (10月15日現在)

作物名	生育良否	生育期節	生育・作業状況
秋まき小麦 (きたほなみ)	やや不良	出芽期 10/11	莖数 257 (220) 本/m ²
てん菜	やや良		根周 37(36.7)cm
小豆	—		収穫期 10/10 (10/11)
サイレージ用 とうもろこし			収穫終 10/6 (10/7)
ナガイモ (刈り栽培)	やや良		いも重 1,253 (1,180)g

※備考の()内は平年値

十勝の出来秋が終盤を迎えました。馬鈴薯に続き豆類の脱穀がほぼ終了、ビートの収穫が終盤を迎え、ナガイモなど根物野菜の掘り取り作業は今はピーク。今年は生育期間中の天候不順と多雨、さらには収穫期の降雨の影響で菜豆の色流れ、馬鈴薯の小粒傾向など作物の品質低下がみられ、収穫作業や小麦の播種作業も中断が続くなど生産者にとっては苦勞の1年でした。農業改良普及センターでは「夕暮れが早まっており、視界が悪くなっているため、無理な作業を避け、ゆとりをもって収穫作業を」と事故防止を啓発しています。

ゆとりみらい21推進協議会がまとめた10月15日現在の農作物生育状況によると、てん菜の根周は37cmと平年よりやや多く、作柄は「やや良」。

豆類は小豆、金時の脱穀作業はほぼ終了、収量は圃場条件によってかなりのばらつきがある状況です。収穫期は小豆で10月10日と平年より1日遅れでした。根物野菜のナガイモも作柄は「やや良」、茎葉重は380gと平年より約3割少なく、いも重は6%程度上回っています。牧草、サイレージ用トウモロコシの収穫作業は平年より1日早く終了しました。

一方、秋まき小麦は、播種期の天候不良により作業は平年より8日遅れで、草丈4cm、莖数257本となり、平年をやや下回っている状況です(作柄は「やや不良」)。普及センターでは、播種作業が遅れたため3葉前後で越冬することが予想されるため、十分に薬剤が付着するように注意して適期に防除をし、根雪前の11月中旬をめどに必ず完了できるように作業計画を立てるよう呼びかけています。

また、多量の降雨や根雪が遅くなった場合は、可能な限り再散布の実施をするよう強調しています。